



学校通信

令和5年12月1日
東京都立葛飾盲学校長
岩下 桂郎
(第9号)

研究授業「職業・家庭」より

校長 岩下 桂郎

11月に入り寒い日が続くようになりました。学校の木々の葉も緑から赤へと色づいています。幼児から生徒まで体調を崩す方が増えているように感じますので、御注意ください。

さて、本校では教員全員が指導力向上のため研究授業を行っています。先日、中学部で「職業・家庭」の授業を観覧しました。「職業・家庭」は特別支援学校でのみ設置されている教科であり、「より良い家庭生活や将来の職業生活に向けて、実践的な態度を養うことを目指しています（学習指導要領の一部抜粋）」。その日は紙すきを中心とした「はがき作り」の授業でした。

作業の手順を明確にするため、「はがし・ちぎり」「軽量・袋詰め」「ミキサー・紙すき」の3つの作業班がそれぞれ別の教室で作業を進めました。その中で、「ミキサー・紙すき班」には今回3人の生徒が参加していました。彼らは教員の支援を受けながら、一定時間ミキサーでパルプと水を攪拌していきました。滑らかになったらそれらを所定の場所に運び、トレイに流し込むこともできました。短い時間でも自分の役割を理解し、見通しを持って活動することは、キャリア教育の柱の一つである「将来計画能力」を発揮したことにつながります。また、作業中には生徒同士でも「おはようございます」「おねがいます」「ありがとうございます」といった挨拶や言葉の使い方について指導が行われました。これは仕事場面を想定した会話であり、日常会話よりも特定の状況で使われる言葉や表現を身につけることが、生徒たちにとって理解しやすくなっています。

このような体験を通じて、将来の職業生活を意識し、自分が目指す姿に近づける工夫ができる生徒を育てたいと考えています。

近藤副校長が自身の都合で1カ月ほどお休みをいただきます。御不便をおかけしないようにしますので、御了解ください。

「いじめ・体罰等への取組について」

本校では、いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処に関する措置を、実効的かつ組織的に行うため、いじめ対策委員会を設置しています。私たち教職員は、子供たちの変化を見逃さず、いつでも対応できるよう日頃から準備をしています。そして、少しでも気になる点があれば、担任や学部主任と連携して正確な情報を集め、必要に応じていじめ対策委員会を開くなど、教職員が一丸となり解決に向けて取り組んでいます。年に3回、いじめや体罰に関するアンケートを子供たちに行っています。第2回は、11月27日にサポートチーム（外部委員）の力をお借りして実施し、様々なアドバイスをいただきました。

地域や家庭の皆様と緊密に連携を取りながら、子供たちの安全・安心を守るため、これからも尽力していきます。

(生活指導部 小松崎)